

## 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の趣旨や生徒の実状に応じつつ、配慮を必要とする状況にも対応できるカリキュラム・マネジメントに取り組む。</li> <li>・新しい時代に必要となる資質・能力の育成をめざし、授業改善と探究活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の趣旨や生徒の実状を踏まえた進学重視の教育課程を編成し、指導・支援体制を整備する。</li> <li>・組織的な授業改善の一環としてICTの利活用を促進するとともに、「探究のプロセス」を生かした授業づくりを展開し、教育活動全体で往還する探究的な学びを実践する。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全般をとおして生徒の主体性や人間性を高め、社会に貢献できる人材を育成する。</li> <li>・生徒理解を深め、個に応じた柔軟な支援を行える体制を組織的に整備し充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活をとおして規範意識を高めさせつつ、部活動や学校行事等を活性化させて生徒の主体性や協調性の向上を図る。</li> <li>・生徒の抱える問題の早期発見に努め、専門家と連携しながら組織全体で状況を共有し、個に応じた指導・支援を行う。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内での指導・支援と学校外の教育力を系統的に展開することにより、生徒一人ひとりが自己の適性を正しく理解しながらキャリア意識を高め、希望する進路を実現できる体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部模試等を活用し、進路意識を高める。</li> <li>・担当グループと年次、キャリアアドバイザーが連携し、計画的かつ効果的な進路指導を行う。</li> <li>・外国につながるのある生徒の強みを生かした進路実現を図るため、外部機関との連携をより強化する。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者等との連携・協働を図り、信頼され開かれた学校づくりを推進する中で、生徒の主体性や社会性を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の行事や清掃活動等に積極的に参加させ、生徒の地域活動への機会を増やし、社会への参画意欲と自己肯定感を向上させる。</li> <li>・地域や保護者と連携・協働した教育活動を企画し実施する。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者をはじめ社会の教育ニーズに対応しながら、安心して学ぶことのできる教育環境を整備し、学校の取組に関する情報を積極的に発信する。</li> <li>・職員の教育公務員としての自覚を高めつつ、ワークライフバランスを推進しながら協働性を高め、業務の効率化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティースクールにおける評価を生かし、不断の改善を行い教育活動の充実を図る。</li> <li>・学校説明会やホームページ等を活用し、本校の魅力と特色を積極的に発信する。</li> <li>・職員研修会や事故不祥事防止会議を積極的に実施し、組織力向上を図るとともに、タイムマネジメントを意識した働き方を実践する。</li> </ul>